

30

B 午前

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和4年2月27日 9時~11時10分)

注意事項

1. 試験問題は90問で、解答時間は正味2時間10分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には1から4までの四つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例) 問題 101 県庁所在地はどれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

正解は「3」であるから答案用紙の ③ をマークすればよい。

答案用紙①の場合、	101	101
	①	①
	②	②
	③	●
	④	④

→

答案用紙②の場合、
101 ① ② ③ ④
↓
101 ① ② ● ④

- (2) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例…… ● (濃くマークする。)

悪い解答の例…… ⊖ ⊗ (解答したことになる。)
- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり「」のような消し方などをした場合は、修正したことになるから注意すること。
- (4) 1問に二つ以上解答した場合は誤りとする。
- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

専門基礎科目

問題 1 介護保険制度の保険者はどれか。

1. 国
2. 都道府県
3. 市町村
4. 介護施設

問題 2 我が国の国民医療費に含まれるのはどれか。

1. 正常分娩の費用
2. 訪問看護の療養費用
3. 入院時室料差額の費用
4. 予防接種の費用

問題 3 被用者保険でないのはどれか。

1. 船員保険
2. 共済組合
3. 協会けんぽ
4. 国民健康保険

問題 4 患者が「よろしく申し上げます」と言い、医療従事者が「お任せください」と言う会話から考えられる両者の関係はどれか。

1. パターナリズム
2. セカンドオピニオン
3. インフォームド・アセント
4. インフォームド・コンセント

問題 5 疾病予防について、ハイリスクアプローチはどれか。

1. 受動喫煙を減らすための法整備
2. 食習慣改善のための広報活動
3. 市民対象のウォーキング大会の実施
4. 喫煙者に対する禁煙指導の実施

問題 6 2019年度学校保健統計調査において中学生・高校生で被患率が最も高いのはどれか。

1. むし歯
2. 裸眼視力1.0未満
3. 鼻・副鼻腔疾患
4. ぜん息

問題 7 疫学指標について、横断調査により明らかになるのはどれか。

1. 有病率
2. 罹患率
3. 死亡率
4. 致命率

問題 8 保健所について誤っているのはどれか。

1. 地域保健法で規定される。
2. 保健所長は医師である必要がある。
3. 栄養の改善および食品衛生に関する業務を行う。
4. 地域保健に係る統計に関する業務を行う。

問題 9 運動により減少することが期待されるのはどれか。

1. 心拍出量
2. 最大酸素摂取量
3. 末梢血管抵抗
4. インスリン感受性

問題 10 産業衛生管理のうち作業管理はどれか。

1. 作業場の換気
2. 防塵マスクの使用
3. 定期健康診断の実施
4. 作業環境測定の実施

問題 11 あはき法で、都道府県知事が施術者に対し、衛生上害を生ずるおそれがあると認める業務に関して必要な指示をするとき、その指示に関して意見を述べることができるのはどれか。

1. 地方厚生局長
2. 市町村長
3. 保健所長
4. 医師の団体

問題 12 あはき法における施術所の届出事項で、変更が必要でないのはどれか。

1. 出張による施術を開始した。
2. 業務に従事する施術者が変わった。
3. 施術室を広くした。
4. 開設者が変わった。

問題 13 あはき法で、施術所について広告できるのはどれか。

1. パルス鍼
2. やいと
3. 認定鍼灸師
4. 労災保険の適用

問題 14 あはき法で定められている罰則で量刑が最も重いのはどれか。

1. はり師が消毒をせずに施術した。
2. 施術所の開設を届け出なかった。
3. 施術者が都道府県知事の指示に違反した。
4. 施術者が秘密保持義務に違反した。

問題 15 頸椎について正しいのはどれか。

1. 横突孔がある。
2. 後弯している。
3. 第6頸椎は隆椎である。
4. 軸椎は後頭骨との関節面をもつ。

問題 16 横隔膜について正しいのはどれか。

1. 呼吸筋である。
2. 頸神経に支配される。
3. 起始部は臍中心である。
4. 迷走神経は大動脈裂孔を通る。

問題 17 上肢の筋と作用の組合せで正しいのはどれか。

1. 大円筋 —— 肩関節の外転
2. 長掌筋 —— 橈骨手根関節の伸展
3. 浅指屈筋 —— 遠位指節間関節の屈曲
4. 腕橈骨筋 —— 肘関節の屈曲

問題 18 外頸動脈の枝はどれか。

1. 眼動脈
2. 椎骨動脈
3. 顎動脈
4. 下甲状腺動脈

問題 19 静脈について正しいのはどれか。

1. 奇静脈は腕頭静脈に注ぐ。
2. 大伏在静脈は大腿静脈に注ぐ。
3. 尺側皮静脈は鎖骨胸筋三角を通る。
4. 肝静脈は肝門を通る。

問題 20 食道について正しいのはどれか。

1. 縦隔を通る。
2. 第3頸椎の高さで始まる。
3. 食道下部の筋層は横紋筋である。
4. 粘膜上皮は多列線毛上皮からなる。

問題 21 膵臓について正しいのはどれか。

1. 膵頭部は脾臓に接する。
2. 腹膜で全体が覆われる。
3. 膵管は十二指腸に開口する。
4. ランゲルハンス島は膵頭部に多い。

問題 22 痛覚の伝導路に含まれるのはどれか。

1. 下丘
2. 胸髄核
3. 後索核
4. 脊髄後角

問題 23 皮膚について正しいのはどれか。

1. 毛幹の下端を毛球という。
2. 乳腺は皮膚腺の一種である。
3. 表皮は多列円柱上皮である。
4. メラノサイトは真皮にある。

問題 24 DNA について誤っているのはどれか。

1. 遺伝情報をもつ。
2. 塩基は3種類である。
3. 二重らせん構造である。
4. 染色体に含まれる。

問題 25 血管について正しいのはどれか。

1. 動脈は静脈より血管抵抗が小さい。
2. 動脈は静脈より多くの血液を貯留する。
3. 静脈弁は血液の逆流を防ぐ。
4. 歩行時には静脈還流量が低下する。

問題 26 消化液と消化酵素の組合せで正しいのはどれか。

1. 唾 液 —— アミラーゼ
2. 胃 液 —— リパーゼ
3. 膵 液 —— マルターゼ
4. 腸 液 —— ペプシン

問題 27 体温について正しいのはどれか。

1. 体温調節中枢は延髄にある。
2. 細菌感染では産熱は抑制される。
3. セットポイントの下降により発熱が起こる。
4. 核心温度の変化は温度感受性ニューロンにより感受される。

問題 28 糖質コルチコイドの作用で正しいのはどれか。

1. 血糖値を低下させる。
2. 血圧を低下させる。
3. 胃酸分泌を抑制する。
4. 炎症反応を抑制する。

問題 29 加齢に伴い増加するのはどれか。

1. 副腎皮質ホルモン分泌
2. 肺活量
3. 神経伝導速度
4. 重心動揺

問題 30 脳波について正しいのはどれか。

1. α 波は安静覚醒閉眼時に現れる。
2. β 波は α 波より周波数が低い。
3. δ 波は運動時に多く現れる。
4. 深睡眠時には脳波は平坦となる。

問題 31 筋収縮の過程においてエネルギーを必要とするのはどれか。

1. 筋細胞による活動電位発生
2. 筋細胞内でのカルシウムイオン放出
3. ミオシン頭部とアクチンの結合
4. ミオシン頭部の運動

問題 32 近くの物体を見るときに起こるのはどれか。

1. 毛様体筋の弛緩
2. 瞳孔散大
3. 水晶体の厚みの増大
4. 共同偏視

問題 33 遺伝性疾患はどれか。

1. ダウン症候群
2. ターナー症候群
3. マルファン症候群
4. クラインフェルター症候群

問題 34 DNA ウイルスはどれか。

1. ノロウイルス
2. 麻疹ウイルス
3. コロナウイルス
4. 水痘・帯状疱疹ウイルス

問題 35 左冠動脈閉塞による急性心筋梗塞で死亡した。肺にみられる変化として適切でないのはどれか。

1. 出血
2. 塞栓
3. 水腫
4. うっ血

問題 36 フィブリノゲンの滲出が特徴的なのはどれか。

1. 壊疽性炎
2. 化膿性炎
3. 漿液性炎
4. 線維素性炎

問題 37 抗原提示細胞はどれか。

1. NK 細胞
2. 好酸球
3. T リンパ球
4. マクロファージ

問題 38 癌と前癌病変の組合せで正しいのはどれか。

1. 乳 癌 —— 乳腺症
2. 口腔癌 —— 白板症
3. 子宮体癌 —— 子宮筋腫
4. 前立腺癌 —— 前立腺肥大

問題 39 脳性麻痺で、はさみ脚歩行を呈するのはどれか。

1. 痙直型
2. 失調型
3. 非緊張型
4. アテトーゼ型

問題 40 対光反射の遠心路はどれか。

1. 動眼神経
2. 三叉神経
3. 外転神経
4. 顔面神経

問題 41 鷲手をきたす罹患神経はどれか。

1. 筋皮神経
2. 正中神経
3. 橈骨神経
4. 尺骨神経

問題 42 血中脂質で基準値を下回ると動脈硬化のリスクが高くなるのはどれか。

1. 中性脂肪
2. 総コレステロール
3. LDL コレステロール
4. HDL コレステロール

問題 43 リンパ節腫脹の原因で誤っているのはどれか。

1. 感染症
2. 白血病
3. 鼠径ヘルニア
4. 悪性腫瘍の転移

問題 44 呼吸器症状について正しいのはどれか。

1. 気胸は胸痛の原因となる。
2. 喘息による咳は昼間に多い。
3. 痰を伴わない咳を湿性咳嗽という。
4. 動脈血酸素飽和度が正常であれば呼吸困難は呈さない。

問題 45 一次救命処置で正しいのはどれか。

1. 救急薬品を使用する。
2. 胸骨圧迫を行う。
3. 人工呼吸器をつける。
4. 静脈ルートを確保する。

問題 46 意識障害で最も重いのはどれか。

1. 昏迷
2. 傾眠
3. 昏睡
4. 嗜眠

問題 47 やせをきたしやすい疾患はどれか。

1. 早期胃癌
2. 脂質異常症
3. 甲状腺機能低下症
4. 神経性食欲不振症

問題 48 めまいをきたす疾患はどれか。

1. メニエール病
2. パーキンソン病
3. クッシング病
4. ウィルソン病

問題 49 変形性関節症の単純エックス線所見で正しいのはどれか。

1. 骨壊死像
2. 骨棘の形成
3. 関節裂隙の拡大
4. 軟骨下骨の萎縮像

問題 50 くる病の治療で適切でないのはどれか。

1. ビタミンDの投与
2. 運動
3. 日光浴
4. 副腎皮質ホルモンの投与

問題 51 骨化性筋炎の原因はどれか。

1. 脊髄損傷
2. エストロゲン製剤の服用
3. 意識障害を伴う脳障害
4. 筋挫傷後の無理な可動域訓練

問題 52 外傷とその原因の組合せで正しいのはどれか。

1. 手舟状骨骨折 ————— 手関節掌屈
2. 股関節脱臼 ————— 車内のダッシュボードへの膝の衝突
3. 上腕骨顆上骨折 ————— 上肢の急激な牽引
4. 第5中足骨基部裂離骨折 ——— 足部外がえし

問題 53 筋萎縮性側索硬化症によくみられるのはどれか。

1. 感覚障害
2. 眼球運動障害
3. 膀胱直腸障害
4. 筋線維束性れん縮

問題 54 パーキンソン病で振戦が最も起こりやすいのはどれか。

1. 字を書くとき
2. じっとしているとき
3. 何か物を取ろうとするとき
4. からだの前で手を保持するとき

問題 55 高血圧性脳出血が最も好発する部位はどれか。

1. 被 殻
2. 視 床
3. 橋
4. 前頭葉

問題 56 汎血球減少症をきたすのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血
2. 腎性貧血
3. 溶血性貧血
4. 再生不良性貧血

問題 57 急性骨髄性白血病について正しいのはどれか。

1. 末梢血で白血球裂孔がみられる。
2. 中枢神経障害がみられる。
3. 小児に多い。
4. 血液凝固系は保たれる。

問題 58 子宮筋腫について正しいのはどれか。

1. CA125 が上昇する。
2. ヒトパピローマウイルス(HPV)感染が関係する。
3. 不正性器出血をきたしにくい。
4. エストロゲン依存性疾患である。

問題 59 非結核性抗酸菌症について正しいのはどれか。

1. 男性に多い。
2. 人から人へ感染する。
3. 難治性である。
4. 肺切除の対象とはならない。

問題 60 腎前性腎不全の病因はどれか。

1. 出血性ショック
2. 前立腺癌
3. 後腹膜腫瘍
4. 急性腎炎症候群

問題 61 不整脈で予後が最も良いのはどれか。

1. 心室細動
2. 心房細動
3. 上室性期外収縮
4. Ⅲ度房室ブロック

問題 62 我が国における後天性失明の原因で最も多いのはどれか。

1. 加齢黄斑変性症
2. 白内障
3. 網膜剥離
4. 緑内障

問題 63 IV型アレルギーはどれか。

1. アナフィラキシーショック
2. アレルギー性結膜炎
3. アレルギー性接触性皮膚炎
4. アレルギー性鼻炎

問題 64 発達障害で不注意、多動性、衝動性の3つの特徴がみられるのはどれか。

1. ADHD
2. PTSD
3. 発達性協調運動障害
4. 自閉スペクトラム症

問題 65 感染症と媒介生物の組合せで正しいのはどれか。

1. 発疹チフス ————— ダニ
2. トキソプラズマ症 —— シラミ
3. デング熱 ————— 蚊
4. 日本脳炎 ————— ネズミ

問題 66 急性膵炎で最も多いのはどれか。

1. アルコール性膵炎
2. 自己免疫性膵炎
3. 胆石性膵炎
4. 薬剤性膵炎

問題 67 予防接種が有効な感染症はどれか。

1. 百日咳
2. 腸チフス
3. C型肝炎
4. 猩紅熱

問題 68 アデノウイルス感染症はどれか。

1. 流行性耳下腺炎
2. 流行性角結膜炎
3. 伝染性単核球症
4. 手足口病

問題 69 大腸癌について正しいのはどれか。

1. 近年減少傾向である。
2. 便潜血検査は死亡率減少に寄与する。
3. 大部分が扁平上皮癌である。
4. 血清 CEA が早期診断に役立つ。

問題 70 ウイルス性肝炎と感染経路の組合せで正しいのはどれか。

1. A 型 —— 性行為
2. B 型 —— 獣肉摂取
3. C 型 —— 血液への曝露
4. E 型 —— 生鮮魚介類の摂取

問題 71 社会的リハビリテーションに該当するのはどれか。

1. 職業訓練
2. 特別支援教育
3. 二次的合併症の予防
4. 施設入所支援

問題 72 リハビリテーション医療チームのうち、退院後在宅での施設利用を調整する職種はどれか。

1. 看護師
2. 作業療法士
3. 義肢装具士
4. 医療ソーシャルワーカー

問題 73 疾患と異常歩行の組合せで正しいのはどれか。

1. 腰部脊柱管狭窄症 —— 間欠跛行
2. 脊髄小脳変性症 —— 分回し歩行
3. パーキンソン病 —— 酩酊歩行
4. 脳卒中片麻痺 —— 小刻み歩行

問題 74 手関節背屈装具の適応となるのはどれか。

1. 正中神経麻痺
2. 橈骨神経麻痺
3. 筋皮神経麻痺
4. 尺骨神経麻痺

問題 75 スプーンを持ってスプーンを口に運ぶ際、前腕と手関節の運動方向の組合せで最も適切なものはどれか。

1. 前腕回外 —— 手関節屈曲
2. 前腕回外 —— 手関節伸展
3. 前腕回内 —— 手関節屈曲
4. 前腕回内 —— 手関節伸展

問題 76 脳卒中片麻痺患者の生活期に最も多く使用されている装具はどれか。

1. 長下肢装具
2. 短下肢装具
3. 膝関節装具
4. 体幹装具

問題 77 脊髄損傷患者に生じる自律神経過反射について正しいのはどれか。

1. 腰髄損傷患者にみられる。
2. 頻脈を生じる。
3. 便秘が原因となる。
4. 血圧上昇にはまず降圧薬を投与する。

問題 78 下腿義足のうち膝蓋靭帯で体重を支持し、懸垂をカフベルトで行うのはどれか。

1. 在来式
2. KBM 式
3. PTB 式
4. ライナー式

問題 79 脳性麻痺について正しいのはどれか。

1. 脳の病変は進行性である。
2. 成長に応じた療育が重要である。
3. 病型ではアテトーゼ型が最も多い。
4. 出生時の一過性の運動障害も含まれる。

問題 80 ヒュー・ジョーンズ分類で「息切れのために外出ができない」のはどれか。

1. I 度
2. II 度
3. IV 度
4. V 度

問題 81 変形性膝関節症に対するリハビリテーションで最も適切なのはどれか。

1. 下肢等尺性筋力訓練
2. 階段昇降訓練
3. 自助具の使用
4. 寒冷療法

問題 82 パーキンソン病の症状で正しいのはどれか。

1. 下垂足
2. 前傾前屈姿勢
3. 大殿筋歩行
4. ミオクロニー発作

次の文で示す症例について、問題 83、問題 84 の問いに答えよ。

「65 歳の男性。左片麻痺と意識障害を生じた。頭部 CT 検査にて右被殻出血と診断され、保存的治療を受けた。リハビリテーションの評価において視覚の見落としが著明であった。」

問題 83 本患者の高次脳機能障害はどれか。

1. 失行
2. 注意障害
3. 記憶障害
4. 遂行機能障害

問題 84 適切な対応はどれか。

1. メモをとるように勧める。
2. 周囲の人が動作を促す。
3. 段差に気を付けるように指導する。
4. 同時に複数の課題をさせない。

次の文で示す症例について、問題 85、問題 86 の問いに答えよ。

「70 歳の男性。車を停車中に左上肢を伸ばし後部座席の物を取ったところ、肩峰部に激痛を感じた。肩関節部を他動的に外転させても、自力で外転位を保持できない。」

問題 85 診察所見で適切なのはどれか。

1. ドロップアームテスト陽性
2. ペインフルアークサイン陽性
3. 肩関節内旋筋力低下
4. 肩関節内転筋力低下

問題 86 診断確定のための検査で最も適切なのはどれか。

1. エックス線検査
2. CT 検査
3. MRI 検査
4. 筋電図検査

次の文で示す症例について、問題 87、問題 88 の問いに答えよ。

「55歳の女性。2か月前から背部の鈍痛が続いていたが放置していた。発熱はないが、食欲不振、体重減少、倦怠感がある。」

問題 87 最も疑われる疾患はどれか。

1. 子宮筋腫
2. 尿路結石
3. 腎盂腎炎
4. 膵臓癌

問題 88 行うべき検査で最も適切なのはどれか。

1. 腹部超音波検査
2. 尿沈渣
3. 血液像(白血球分画)
4. 腹部エックス線検査

次の文で示す症例について、問題 89、問題 90 の問いに答えよ。

「55歳の男性。強度近視。夕方デスクワーク中、右眼で黒く動く小さな糸くず状のものが見えた。」

問題 89 該当する症状はどれか。

1. 霧 視
2. 複 視
3. 飛蚊症
4. 光視症

問題 90 次第に症状は悪化し、右眼で下から上へ視野欠損も生じてきた。考えられる疾患はどれか。

1. 緑内障
2. 白内障
3. 網膜剥離
4. 網膜色素変性症

